

## 平成21年度ピナトゥボボランティア報告

協会では、ピナトゥボ奉仕活動の助成をしています。この助成を受けてピナトゥボでボランティア活動をしてきてくれた有家康太さんが寄稿してくれました。3月1日から3月14日までの2週間のグダ滞在でした。

### フィリピンで学んだこと 有家 康太 (大学2年)

太陽の光がまぶしく、車やバイクのクラクションが鳴り響く国、フィリピンへの初訪問、一人でやって来た。ホームステイ先はグタの集落に住むフロリダブランカの保健所のドライバー、ジェクのお家。庭には多くの鶏がいて、マンゴーの木が家を囲み、ゆっくりとした時間が流れているかのようなお家。家族はジェク、妻マリヤンとその子どもジェロ（3歳）のいつも笑顔が絶えない家族でした。

今回の訪問目的は、多くの人と知り合い、少しでも日本の事を知ってもらうこと。ポーラック、グアグアのカトリック高校、ディバイン・ウィズダム高校を巡り子どもたちに日本について紹介する。現地では、平日はほぼ毎日学校に行き、一日中いろいろなクラスで日本語を教たり、日本の学校を紹介したり、国歌を歌ったり、みんなで折り鶴を折ってみたり・・・あたふたした時もあったけれど、クラスでの貴重な時間を使ってやらせてもらい、子どもたちはみんな笑顔で僕の訪問を迎えてくれました。

日本から持って行った僕の母校の卒業アルバムを見せれば、みんなが寄ってきて、食い入るように見て、笑って、叫んで、質問をしてきたり、ホワイトボードを使って日本語を教えれば、みんなメモしてくれ、また子どもたちは「～って日本語で何??」と自ら聞いてきたりと毎時間違うことが起こって、時には先生が子どもにまじって参加するまでに！（笑）（4ページに続きます）



高校の生徒たちと記念撮影

## 21年度の協会の取り組み

### 国際交流セミナー

4月12日の総会の後、「笑顔があれば」と題して、岩倉市内在住で、ラジオ番組にも出演され、元中日ドラゴンズ平野選手のお姉さんとしても知られているエッセイストの内藤洋子さんに講演をしていただきました。ご自身の苦労話や平野選手の活躍の話を楽しくおしゃべりしていただき、会員や参加者皆さんが、笑顔で聞き入っていました。

### こいのぼりづくり

5月23日、24日に恒例のこいのぼりづくり。

CBIC（国際協力機構 中部研修センター）からメキシコ人研修員が9人、名古屋芸大から留学生9人（英国5人、タイ4人）が参加し、皆で楽しくこいのぼりを作りました。



### 中学生海外派遣事業

8月14日から22日まで14人の中学生がマレーシアを訪れました。今回の旅は出会いと体験の9日間でした。クアラルンプール、ラウ、テメロー、パラゴンの4つの地域を廻り、3家庭でホームステイをしました。



### あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ

10月10日、11日に愛・地球博記念公園で開催されたフェスタに、キューバを紹介するブースを設けました。2日間とも晴天に恵まれ、穏やかな秋晴れの下、サルサを踊ったり、マンゴージュースやモヒートの試飲会を催したりと、大盛況でした。



### ふれ愛まつり

11月7日、8日“世界のティータイム”をテーマに10か国のお茶とお菓子を楽しみました。モンゴルのバター茶、台湾のタピオカ入り紅茶、キューバのマンゴージュースなど。メキシコからのゲストに「こんなおいしいマンゴージュース、素晴らしい！OK！」と喜んでいただき嬉しかったです。



## マレーシアを楽しもう！

だんだんと寒くなり、冬の厳しさが顔を出し始めた11月最後の週にマレーシア訪日団一行が岩倉に滞在し、「くすのきの家」でのダンスやチョンカ、郷土料理の試食会を楽しみました。また、「希望の家」で一緒に宿泊し、何気ないふれあいの中で非常に貴重な経験をすることができました。



## みんなともだち！～13か国の人たちが参加～

2月28日くすのきの家で近隣に住む外国の人たちとの交流会が開催されました。韓国、中国、タイ、バングラディシュ、ブラジルなど13か国からたくさんの方々が参加。

「お餅の食べ方いろいろ」には、納豆、きな粉、あんこ、大根おろし、けんちん汁、たらこなど、さまざまな食べ方に挑



貝がらのひな人形づくりに挑戦

戦。各自ホットプレートでお餅を焼いて、好きなものを選んで食べるというもの。外国の人たちにも大変好評。貝殻でお雛様を作るコーナーでは、希望者が待たされるほどの盛況。習字コーナーにも熱心な参加者が。また岩倉中学校茶道部の生徒の協力で行った茶席も好評で、きれいな雛飾りの前で記念撮影する家族連れもいました。



抹茶を楽しむ家族

## 外国人無料健康相談会

3月28日、外国人のための無料健康相談会を開催しました。NPO法人外国人医療センターとの共催で、今年で3回目の実施です。健康や体調に不安を持ちながらも言葉や費用のことが気になりで日ごろ医療機関にかかれな外国人が相談に訪れました。胸部レントゲン撮影をはじめ、血圧測定や検尿などを行ってから医師による相談を受けました。

## 世界のお惣菜

8月 ネパール料理…モモ、ダルシット、野菜いため、チャイに挑戦。大口町の「ナマスカル」のシェフに講師として来ていただきました

1月 リトアニア料理…じゃがいもをたっぷり使った料理ディジュククレイが印象的。真新しい生涯学習センターの料理室で味はもちろん、気分よく楽しみました。





## 「フィリピンで学んだこと」(1面からの続き)

また英語の授業を見学させてもらうことができ、授業の内容のレベルが違いすぎて感心し、自分も多くの事、文化の違いを学ぶことができました。文化だけでなくフィリピンの公用語(タガログ語)も彼らに教えてもらいました。中でも僕が学校でよく使ったのは「ポギー(かっこいい)、マギャンダ(綺麗)」で、この単語をクラスみんなに向かって言えばみんな笑ってくれ、嬉しそうな顔になったり(笑)。



岩倉の長年の友人ボトン(左)と筆者(右)

僕が一番お世話になったお医者さん、ボトンのフロリダブランカにある保健所では、フィリピンの経済事情、保健・衛生事情などについて教えてくれました。経済状況があまりよくないフィリピンでは、国が病院や保健所にお金をあまり充ててくれないとのこと。現地に行って初めて日本との違いを感じ、どれだけ日本が裕福なのか思い知らされました。



グタで出会った皆さんと

フィリピン人になる!!というのが僕の一番の課題。夜ご飯は手で食べ、最初はボロボロとこぼしてあまり上手に食べられなかったけど、帰る頃にはマスターし、美味しく食べられ、休日の昼は外の椅子に寝転がってのんびりと、フィリピンスタイルにどっぷり浸かってきました。

何もかもが初体験で、その全てが僕にとって新鮮で価値あるものでした。常に笑顔で心が温かいフィリピンの人々と岩倉市国際交流協会の皆さん、本当にありがとうございました。

## 会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。新規会員の申し込みは下記申込先、問合先にご連絡をお願いします。

**会費振込先** いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

**会 費** 家族会員3口(3千円)以上

**問 合 先** 内藤 (0587-66-7347) 中山 (0587-66-8573)

出野 (0587-37-2495) 堀尾 (090-3421-4088)

会報 COM第65号(2010年4月15日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷所

http://www.iies.info/